

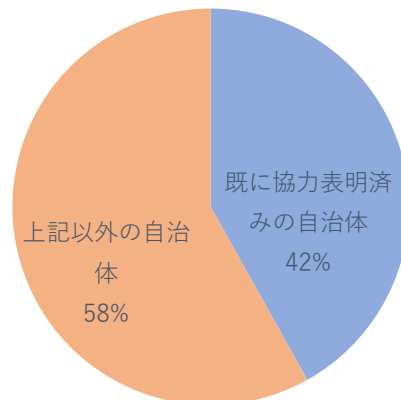
## ejob 事業 アンケート調査結果（自治体向け）

### ■実施概要

配布先	配布方法 ／回収方法	配信日 ／回収予定日	配信数		回収数 ／回収率
協力自治体	ejob 事務局から窓口担当者にメール送信／ウェブ入力、メール返信	9/20～順次 ／10月11日	140	364 *不達 除く	148/ 40.7%
未協力自治体 (可能な範囲で)	都市計画協会保有のメールアドレスから送信／ウェブ入力、メール返信	9月25日 ／10月11日	254 *うち30 不達		

### ■調査結果

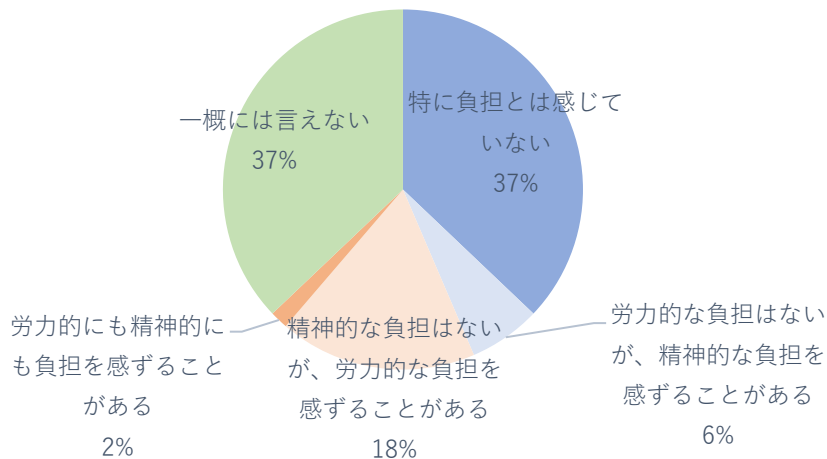
問1 はじめに貴自治体の ejob 事業との関わりをお伺いします（「A 既に協力表明済みの自治体」、「B 上記以外の自治体」のいずれかを選択してください）。



	A 既に協力表明済みの自治体	B 上記以外の自治体
実数	62	86
割合	41.9%	58.1%
母数	148	148

(母数 = 回答者全て)

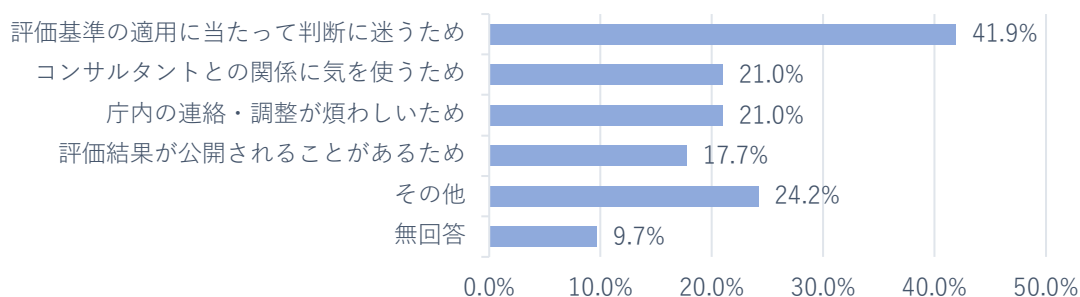
問2 業務評価は評価者2名以上を定めて実施いただいています。一連の評価作業（評価者の決定→評価基準に沿った評価→評価結果の取りまとめ→ejob 事務局への送信）についてどのように感じておられますか。（いずれか1つを選択）



	特に負担とは感じていない	労力的な負担はないが、精神的な負担を感じることもある	精神的な負担はないが、労力的な負担を感じることもある	労力的にも精神的にも負担を感じることもある	一概には言えない
実数	23	4	11	1	23
割合	37.1%	6.5%	17.7%	1.6%	37.1%
母数	62	62	62	62	62

(母数=問1で「A」と回答した地方公共団体)

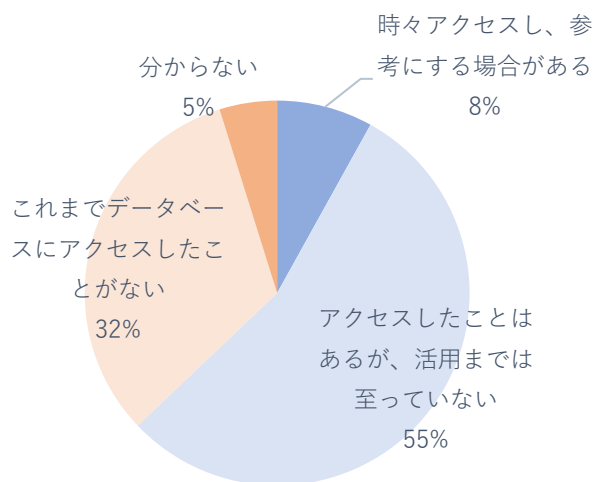
問3 負担を感じるとすれば、その要因と思われるものは何ですか。（該当するもの全てを選択）



	評価基準の適用に当たって判断に迷うため	コンサルタントとの関係に気を使うため	庁内の連絡・調整が煩わしいため	評価結果が公開されることがあるため	その他	無回答
実数	26	13	13	11	15	6
割合	41.9%	21.0%	21.0%	17.7%	24.2%	9.7%
母数	62	62	62	62	62	62

(母数=問1で「A」と回答した地方公共団体)

問4 (公財)都市計画協会のホームページ上にある ejob 事業データベースについて、その活用状況をお聞かせください。(いずれか一つを選択)



	時々アクセスし、参考にする場合がある	アクセスしたことはあるが、活用までは至っていない	これまでデータベースにアクセスしたことがない	分からない
実数	5	34	20	3
割合	8.1%	54.8%	32.3%	4.8%
母数	62	62	62	62

(母数=問1で「A」と回答した地方公共団体)

問5 データベースの使いやすさは如何でしょうか。ご意見・ご希望があればお聞かせください。

- ・ 活用までには至っていないため、現時点では特にありません。
- ・ 詳しく見ていないので、なんとも言えない。
- ・ 年度別に業務の実施内容を確認することはできるが、全体の業務内容を確認できる項目があればなおよい。
- ・ 使いやすい

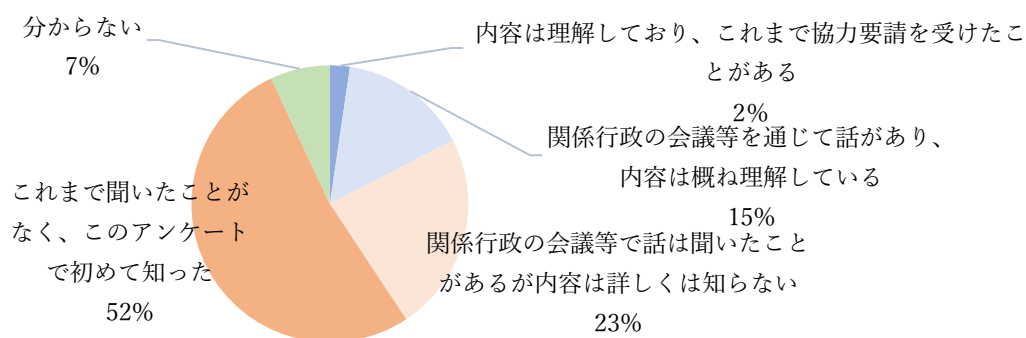
問6 ejob 事業全般（事業スキーム、評価方法・評価基準、運営方法等）について、ご意見・ご希望があれば、お聞かせください。

- ・ 評価を解析して頂き、被評価者の得手、不得手がわかるとよい。
- ・ 市の入札制度には評価の内容が反映されないため、活かすことが出来ない。
- ・ 総合評価の優良評価ではなかったものはどうなるのか。また、それを確認することは出来ないのか。
- ・ 業務評価の結果が悪かった場合、それを登録するかどうかは登録コンサルタントに委ねられてしまうため、データベースの評価を信頼しにくい。
- ・ 今後さらに登録企業が増加して DB が充実することを期待します。
- ・ 自治体によっては、入札制度を過度に厳格に執行するあまり、都市計画を始めとする業務委託の効率的かつ効果的な執行に支障が生じているケースがあります。随意契約やプロポーザル方式でなくても、真に実務遂行能力・専門技術を有する業者のみで競い合えるような環境整備につながることを期待します。
- ・ 随意契約の根拠などに使えるようになるとありがたいです。
- ・ 発注者側のスキルも成果の品質等に大きく影響を与えている。評価者には、客観的な立場や視点を持って評価する姿勢を促すべき。

- ・ 評価基準に「成果の品質」があるが、成果物に関しては、コンサルタントによる取組成果に、発注者サイドで多く手直しを加えた上での最終形となっている。そうした点では、本項目が、コンサルタントの業務成果に絞った評価として判断しにくい側面があると思われる。
- ・ 本市では、ひとつの業務の評価しか実施していないので、特に希望等はありません。

**問 7～問 10 はまだ協力表明いただいてない自治体の回答**

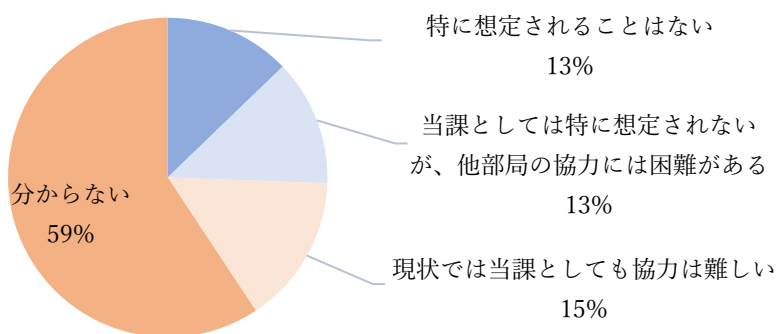
問 7 ejob 事業の存在はお聞き及びでしょうか。(いずれか一つを選択)



	内容は理解しており、これまで協力要請を受けたことがある	関係行政の会議等を通じて話があり、内容は概ね理解している	関係行政の会議等で話は聞いたことがあるが内容は詳しくは知らない	これまで聞いたことがなく、このアンケートで初めて知った	分からない
実数	2	13	20	45	6
割合	2.3%	15.1%	23.3%	52.3%	7.0%
母数	86	86	86	86	86

(母数 = 問 1 で「B」と回答した地方公共団体)

問 8 今後協力要請を受けた場合、差し障りになることが想定されますか。(いずれか一つを選択)



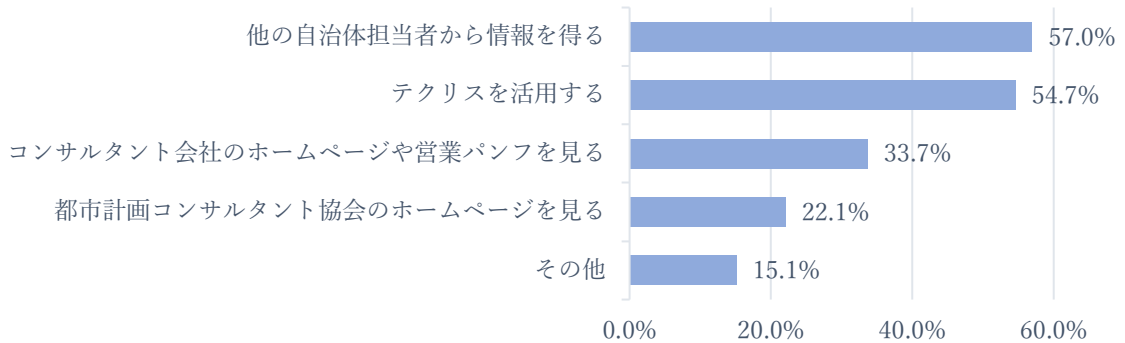
	特に想定されることはない	当課としては特に想定されませんが、他部局の協力には困難がある	現状では当課としても協力は難しい	分からない
実数	11	11	13	51
割合	12.8%	12.8%	15.1%	59.3%
母数	86	86	86	86

(母数 = 問 1 で「B」と回答した地方公共団体)

問9 力する場合の障害として想定されることがあれば、お聞かせください。(例：新たな業務の発生、検査部門等との調整、評価することの負担感等)

- ・ 新たな業務が発生したこと等により、現状での対応は困難だと想定される。
- ・ 都市計画コンサルタントへの発注業務が極めて少ないため。
- ・ 評価することの負担感
- ・ 本県では、土木建築部が発注するすべての業務委託を成績評定の対象としており、同内容の評価について、成績評定所管課と調整を図る必要がある
  - ・ 業務量の増加
  - ・ 適正な評価ができるかどうかの不安
- ・ 新たな業務の発生、
  - ・ 評価することによりコンサルタントとの関係性に影響が生じる可能性がある
  - ・ 評価することの負担感がある。
  - ・ 受注業者への登録手続きや費用の負担があり、登録することに理解が得られるかどうか懸念される。
- ・ テクリスとの区分が不明確
- ・ 委託業務の成績評定制度を導入していないので、評価することが難しい。
- ・ 業務委託は評価基準に基づき評価を行い業者へ通知していますが、評価結果の公表は行っておらず、公表に対する内部調整が困難と思われま。
- ・ 業務量は不明ですが、新たな業務の発生は負担になると考えます。
- ・ 契約検査に係る部門等との調整
- ・ 詳細な事務の内容を把握していないため、事務負担がどれぐらいになるか。(事務の増大)
- ・ 新たな業務の発生
- ・ 新たな業務の発生
- ・ 新たな業務の発生
- ・ 新たな業務の発生、検査部門等との調整
- ・ 新たな業務の発生、検査部門等との調整、評価することの負担
- ・ 新たな業務の発生、検査部門等との調整、評価することの負担感等
- ・ 新たな業務の発生、検査部門等との調整等
- ・ 新たな業務の発生、他部署との調整、公正公平な評価が求められる負担感
- ・ 新たな業務の発生、内部検査の評価との整合性の確保
- ・ 新たな業務の発生、評価することの負担感
- ・ 人員が不足しており、新たな業務に対応することは難しい。  
評価する際に、他社と比較できるわけではなく、評価基準の設定が難しい。
- ・ 他部署との調整
- ・ 体制が整っていない(新たな業務の発生)、他部局との調整
- ・ 都市計画コンサルタントに発注する業務があまり無く、評価の統一性が保たれない。また、負担を感じる。
- ・ 都市計画事業を専門に担当する職員が、地方事務所にはおらず、異動もあるため、評価に対する専門性・妥当性・客観性が確保できない恐れがある。
- ・ 当市においてはコンサルタント業務の成果について評価の仕組みがなく、評価することへの負担感や評価の判断に迷うことが想定される。
- ・ 発注事例が少なく統一的な評価が難しいため
- ・ 評価することの負担
- ・ 評価することの負担感
- ・ 評価業務による負担の増加
- ・ 評価者選定から評価とりまとめまで時間、コストがかかる
- ・ 分からない
- ・ 本府においては、当該事業を活用すると機会が頻繁に想定されず、また、実際に事業協力を検討する際、庁内検査部門をはじめとした他部局などとの調整が必要となる可能性がある。
- ・ 例の全て

問10 都市計画コンサルタントに業務発注する際に、事前にコンサルタント情報を得たい場合、どのような方法をとりますか。(該当するものを全て選択)

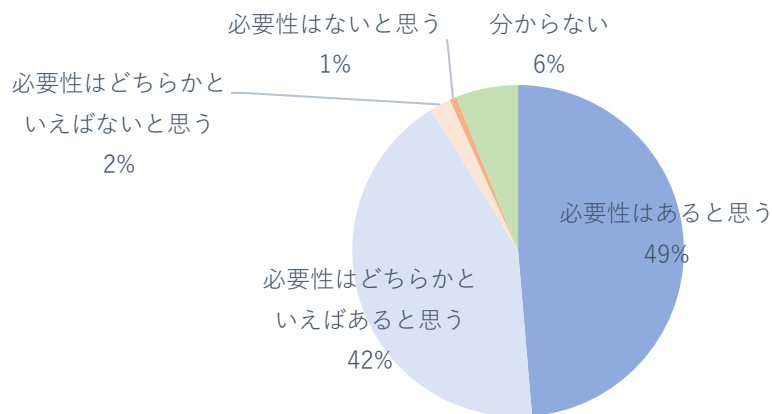


	他の自治体担当者から情報を得る	テクリスを活用する	コンサルタント会社のホームページや営業パンフを見る	都市計画コンサルタント協会のホームページを見る	その他
実数	49	47	29	19	13
割合	57.0%	54.7%	33.7%	22.1%	15.1%
母数	86	86	86	86	86

(母数=問1で「B」と回答した地方公共団体)

問11～問14は全ての自治体の回答

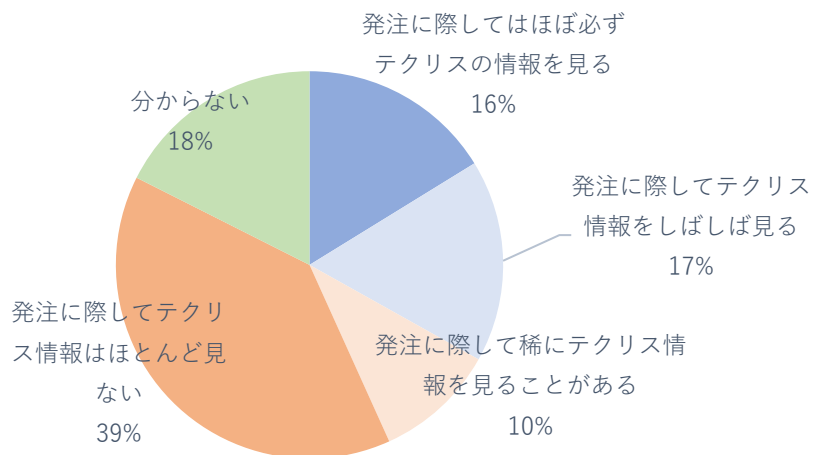
問11 都市計画関係業務の発注に当たって、コンサルタント情報が蓄積された信頼できるデータベース(既存、新規に拘らず)の必要性について、初めに伺います。(お考えに最も近いものを一つ選択)



	必要性はあると思う	必要性はどちらかといえばあると思う	必要性はどちらかといえばないと思う	必要性はないと思う	分からない
実数	72	63	3	1	9
割合	48.6%	42.6%	2.0%	0.7%	6.1%
母数	148	148	148	148	148

(母数=回答者全て)

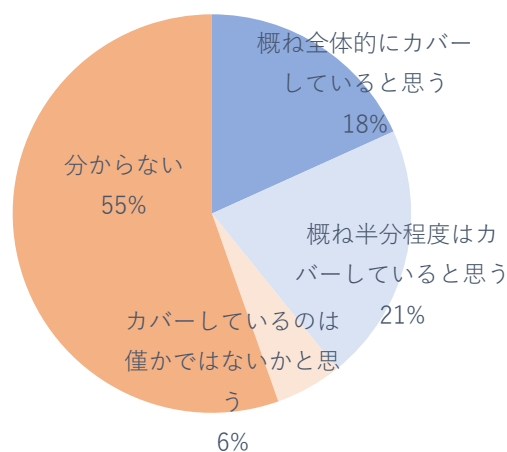
問 1 2 都市計画関係業務の発注に際してコンサルタント情報が欲しい場合のテクリスの活用状況をお聞かせください。(いずれか一つを選択)



	発注に際してはほぼ必ずテクリスの情報を見る	発注に際してテクリス情報をしばしば見る	発注に際して稀にテクリス情報を見ることがある	発注に際してテクリス情報はほとんど見ない	分からない
実数	24	25	15	58	26
割合	16.2%	16.9%	10.1%	39.2%	17.6%
母数	148	148	148	148	148

(母数=回答者全て)

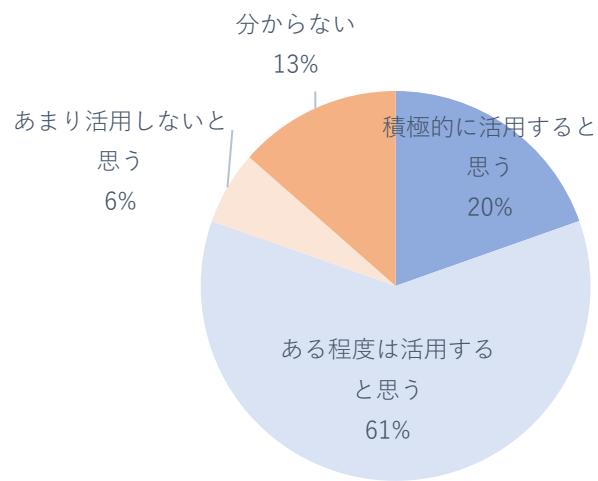
問 1 3 都市計画関係業務についてテクリス情報が十分カバーしていると感じますか。(いずれか一つを選択)



	概ね全体的にカバーしていると思う	概ね半分程度はカバーしていると思う	カバーしているのは僅かではないかと思う	分からない
実数	27	31	8	82
割合	18.2%	20.9%	5.4%	55.4%
母数	148	148	148	148

(母数=回答者全て)

問14 「裾野を広げたデータベース」が無償で閲覧できるとした場合、データベースの水準（情報量、情報の信頼性、操作性等）が一定レベルであるとしたら、発注等に際しそれを活用すると思いますか。（いずれか一つを選択）



	積極的に活用すると思う	ある程度は活用すると思う	あまり活用しないと思う	分からない
実数	29	90	9	20
割合	19.6%	60.8%	6.1%	13.5%
母数	148	148	148	148

(母数 = 回答者全て)